

浅井長政家臣の屋敷が戦国のまま伝存！

しも さか し やかた あと

国指定史跡

北近江城館跡群

下坂氏館跡

Ruins of Shimosaka House



下坂氏館 主屋



不断光院



表門



主屋正面



主屋内部

【ACCESS】



- JR北陸本線 田村駅から徒歩で20分
- 北陸自動車道 長浜ICから車で15分

令和2年

8月8日(土) 13:30 オープン

利用案内 USER GUIDE

●開館日/土曜日・日曜日・祝日

※但し、12月1日～2月末日は休館します。

●開館時間/午前9時～午後4時

※但し、入館受付は午後3時30分まで。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は、無料で入館していただけます(但し、証明となる手帳等の提示が必要)。

※長浜市内・米原市内の小中学校の児童生徒は、無料で入館していただけます。

※館内での写真撮影は展示室内も含めて自由です。

ただし、展示資料を出版物等に掲載される場合は、長浜市長浜城歴史博物館(TEL.0749-63-4611)までご相談ください。

※館内での飲食はご遠慮ください。また、ペットの入館はお断りします。

※敷地内は禁煙です。

入館案内 ADMISSION INFORMATION

入館料	区分	個人	団体(20名以上)
	大人(高校生以上)	300円	250円
小・中学生	150円	130円	

【連絡先】

下坂氏館跡

〒526-0044 滋賀県長浜市下坂中町178番地

六荘まちづくりセンター/TEL.0749(62)0198

月、第1・3日、祝 長浜市長浜城歴史博物館/TEL.0749(63)4611

国指定史跡 北近江城館跡群

しも さか し やかた あと

下坂氏館跡



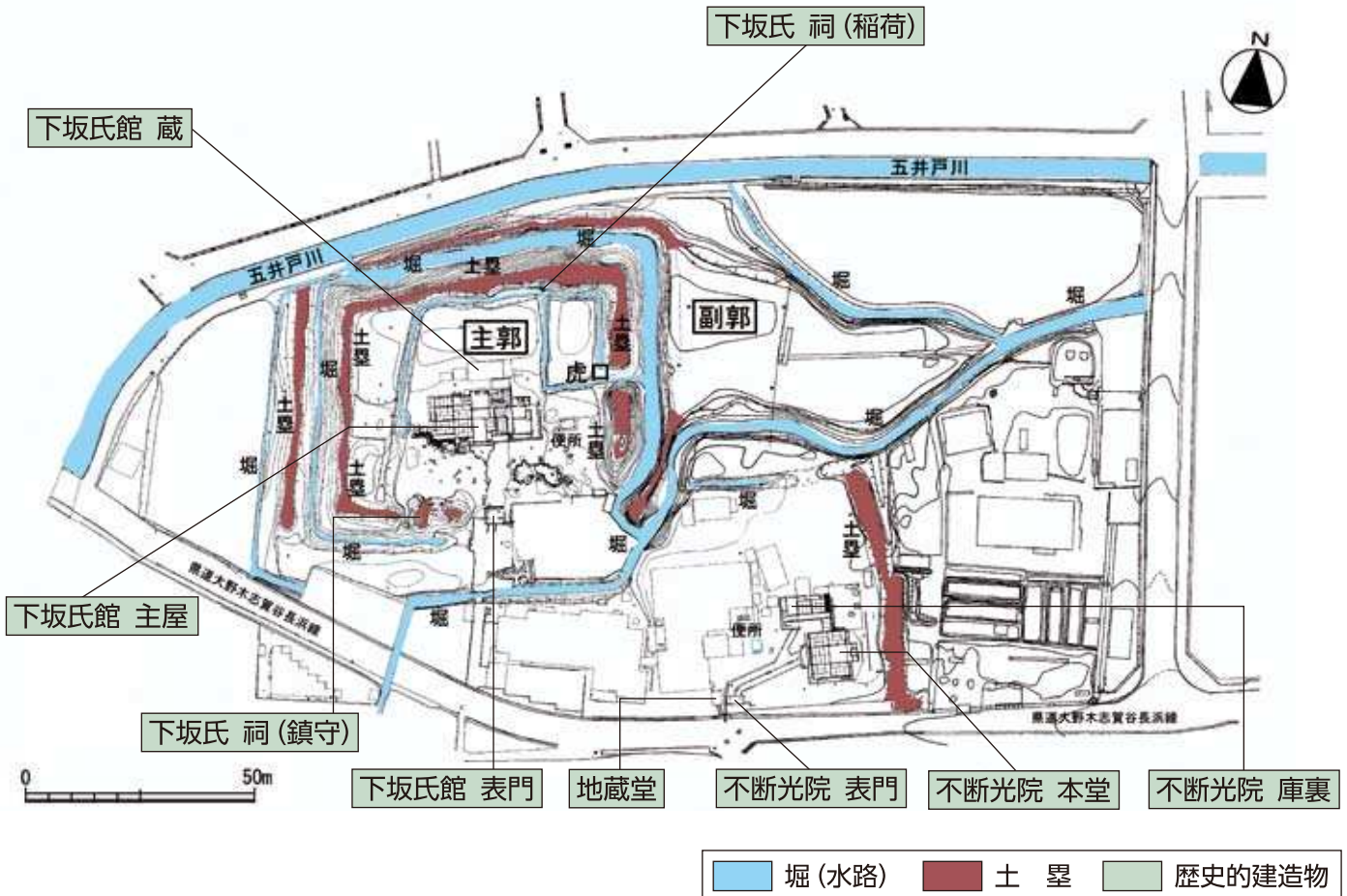
下坂氏館 主屋

下坂氏の歴史

下坂氏は近江国坂田郡下坂庄の村落領主である。その出自については諸説あるが、その相伝文書である「下坂家文書」(長浜市指定文化財)に取められた建武3年(1336)の足利直義感状ただよし かんじょうによれば、すでに南北朝時代には武将として活動していた。その後、戦国時代には、北近江の守護であった京極氏や戦国大名の浅井氏に仕えたことが知られ、信長・秀吉によって攻められていた小谷城にも籠城した。

下坂氏館跡

長浜市下坂中町にあり、平成18年1月26日に「北近江城館跡群」の1ヶ所として国指定史跡しゆかくとなった。主郭は東西約89メートル、南北約87メートルの範囲があり、高さ約1mから2m、幅約2mから5mの二重の土塁が、北から西に廻っている。土塁は東側にも良好に残り、戦国時代の屋敷構えがそのまま伝存するのが特徴である。江戸時代に建立された主屋・表門や菩提寺の不断光院も保存されている。



不断光院 内陣

菩提寺 不断光院

主郭の東南、副郭の南には下坂氏の菩提寺である高雲山不断光院が存在する。同寺は浄土宗でその開創は諸説あるが、中世まで遡る法然上人像や阿弥陀三尊来迎図を所蔵するので、下坂氏が台頭した南北朝時代からの寺院と考える方が妥当だろう。法然上人の忌日(2月24日・25日)に行なわれていた本院の御忌法要は、周辺から多くの参拝者が集まる地域の祭であった。